

# 授業科目 NO. 116 哲学的クリティカルシンキング

## Critical Thinking

授業の形態： 講義  
 単位数（時間数）： 1単位（15時間）  
 開講年次・学期： 2年次・後期  
 必修・選択の別： 必修  
 キーワード： 知的な成長、複数の観点、共生、分析的・批判的思考

### 1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

### 2 学習目標

#### 1) 一般目標（GIO）

この授業は、幅広い知と良い知的態度を備えた人として活躍するために必要な、また、看護専門職者として成長するために必要な「クリティカルシンキングの知識・スキル・態度」「メディアリテラシー」「良い協力の環境を作る力」などを授業参加者が身につけることを目標とする授業である。「一人で、また、複数人で協力して」看護学生が分析的・批判的思考などを涵養することができる学修機会である。この授業の参加者は、人間と社会・地域を良く知り、多様な人と良い関係で協働できる看護師・人に成長する力を高め、「他者から学ぶ」「尊重して聞く」「複数の観点から知る」などにも積極的に関わることになるだろう。

クリティカルシンキングの向上には継続や日々の実践も重要だから、学びや知的なことの実践に楽しみを見つけれられるようになることも、目標の1つである。

#### 2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 問題発見（気づき）、複数の観点から見聞きしていいいに考えること、適切な問題解決などに役立つ知識・スキル・態度の面で、成長する。(①④)
- (2) 社会的な見方を身につけ、他者との良い関わり、コミュニケーション、質問、知的協力などを良く行うための知識・スキル・態度の面で、成長する。(①④)
- (3) 自分の専門に加えて幅広い知を身につけて成長することへの意欲や多様な人々の生き方を知ることへの意欲を持ち続けられる。(①④)
- (4) ピア（学生どうし）でクリティカルシンキングを進めることに協力できる。(①④)
- (5) 授業内容について良く理解し、それを他人に的確に解説することができる。(①④)

### 3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

## 4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	60%
演習成績	40%
合計	100%

(特記事項) 演習の評価は、授業内の活動（一人ずつのワーク、学生どうしで協力するワークや対話を含む）、ホームワーク（ミニットペーパー、課題）などで評価する。また、作成ルール違反の提出物には、厳しく評価・指導する。

## 5 教育担当者

科目責任者：菊地 建至（一般教育機構・医療人文学）

准 教 授 菊地 建至（一般教育機構・医療人文学）

## 6 教 科 書

指定しない。毎回の授業でレジユメを使用し、必要に応じて読書資料なども使用する。

## 7 推 薦 参 考 書

授業内で参考図書・推薦図書を示すので、積極的にそれらを読むことを期待する。

## 8 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

復習やホームワークに十分な時間をとり、ていねいにそれらに取り組むことを求める。クリティカルシンキングの知識・技能・態度は日々の実践・活用によって飛躍的に向上することを知ってほしい。そういう日々の取り組みも、準備学習とみなす。

【自己学習（準備学習）に必要な時間】

1 コマあたり 90 分程度

## 9 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

授業で学んだ知識・スキルの理解、資料の読解などが的確にできているかということについては、基本的に全体に対して解説する。必要な場合は個別コメントも行う。クリティカルシンキングの学びでは、教員が学生に行うフィードバックが常に最も効果があるということではなく「学生どうしのフィードバック」や「セルフチェック」が有用な場合も多い。適宜それらを使い分ける。科目担当者は、「2 学習目標」に挙げた目標に学生が近づきやすいように熱心にガイド（講義、助言、場作り）をする。

## 10 履修上の注意事項

特になし

## 11 オフィスアワー等

オフィスアワーにこだわらず、常時、メールや携帯ネット.com での質問を歓迎します。また、それらで連絡をとって面談の日時を決め、直接話すこともできます。

メールアドレス     takek@g.kanazawa-med.ac.jp

## 第2学年

# 哲学的クリティカルシンキング

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	12月02日 (水)	4	講義	授業ガイダンス、「気づきを言葉にできたり、観点を増やしたり、もっと質問できたりするようになるために重要なこと」		一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	2	12月09日 (水)	4	講義	「他者と良く関わること、人間関係(患者と医療従事者の関係を含む)などについて、知識も得て、考える」		一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	3	12月16日 (水)	4	講義	1-2回の授業をふまえたワーク、「運という観点、健康や医療の社会的見方などについて、知識も得て、考える」	1-2回の授業をふまえた小さな課題(ミニットペーパー)	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	4	1月06日 (水)	4	講義	「論理的」ということの入門講義、「生活のなかの意思決定・選択、患者の意思決定・選択との関わりなどについて、知識も得て、考える」	3-4回の授業をふまえたミニットペーパー	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	5	1月13日 (水)	4	講義	定期試験の情報提供、「ケア、医療従事者と患者の対話、その人にとっての病の経験や意味との関わりなどについて、知識も得て、考える」	定期試験の情報提供を参考にして復習する	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	6	1月20日 (水)	4	講義	「論理的」ということの入門講義、ここまでの授業をふまえたワーク	ここまでの授業をふまえた課題	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	7	1月27日 (水)	4	講義	「論理的」ということの入門講義、クリティカルシンキング発展編(1)		一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	8(0.5)	2月03日 (水)	4	講義	定期試験の情報提供、クリティカルシンキング発展編(2)、最後の話	3つ目(つまり最後)のミニットペーパー	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後		2月08日 (月)	3	試験	定期試験		一般教育機構 医療人文学	菊地准教授